

臨床研究に関するお知らせ

気管支サーモプラスティを施行した難治性気管支喘息患者における 気道壁変化の定量的解析(多施設共同研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院では以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせて頂きますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■ 研究の概要

気管支サーモプラスティは難治性気管支喘息に対して、65°Cで10秒間通電バスケットにて熱伝導をすることにより、気道平滑筋を減少させる目的があります。しかし、平滑筋の減少の有無を長期的に観察した報告はいままでありません。我々の施設では通常診療にて撮影するCT画像を3次元気道解析ソフト(製品名;Virtual Place)を用いることにより、気道壁厚を測定します。観察期間は気管支サーモプラスティ終了後1年間です。

■ 研究の対象となる方

気管支サーモプラスティを行うことに同意をいただけた患者さん(成人)

■ ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報・CT画像等を、観察研究に使用させて頂きます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■ 研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き・手続きにかかる手数料等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ 個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

研究へのご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ先 国立国際医療研究センター 呼吸器内科 石井聰、飯倉元保

TEL:03-3202-7181(代)、FAX:03-3207-1038